

粘着フィルムの技術で 医療に貢献

海外発注可
期相
企画力自信有
コスト相
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量対応

業務内容

貼りつけやすく
はがしやすい粘着フィルム



「エコムシュウ」の投入口（右）と、取り出し口（左）



衛生的な環境づくりに貢献する商品もある。近年では使用済み紙おむつを処理するパック機の開発に力を入れている。



同社の保護フィルムを使用した自動車

強み

スピーディな
薄膜多層コーティング

同社が誇る「薄膜多層コーティング」は、厚さは1μmから対応可能。「軽い力でつく」「50℃の高温でもはがれない」「汚れにくい」といった1社ごとに異なる要望に合わせ、厚みや粘着力を変えている。

「特に光学シートや自動車用保護シートは高い精度を求められますが、大手メーカーに信頼され、長年採用されています」と春山社長。例えば、輸出自動車の保護シートは、塩害、酸

性雨、鳥の糞等、あらゆる要因から保護する必要があるが、同社の技術がそれを支えている。

この他、幅2m、長さ3000mといった大がかりな装置用フィルムも扱う。粘着剤の配合から攪拌までコンピュータで制御。配合ミスを防ぎ、確実に次の工程に進める。また背面処理を同時に行う1パス生産を導入し、スピーディな生産体制を確立している。

新分野

使用済み紙おむつを
高速パック

同社は高い加工技術をもつと社会で役立てようとする分野に進出。それが発臭性廃棄物処理パック機「エコムシュウ」だ。医療や介護の現場で使用済み紙おむつの臭いや処理に苦慮していると聞き、開発に乗り出した。

使用済みの紙おむつや手袋等を投入すれば1・5秒でパックし、同社オリジナルの特殊素材で臭いや菌の増殖を防ぐ。この製品は、すでに全国300以上もの医療機関等に販売されている。廃棄物処理の時間が短縮され、院内感染の予防にも役立つ。

今後の展望

技術を高め
院内感染防止に貢献したい

「紙おむつの処理だけでなく、液体をそのまま密封できる機械の開発をしたい」と春山社長は展望を語る。従来のパック機の気密性をより高めることで、これまで以上に院内感染の防止に貢献できる商品を生み出したいと考えているのだ。すでに医療現場で多くの声を拾い始めている同社の活躍が期待される。

COMPANY PROFILE

株式会社 スミロン

大阪
23

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

昭和47年に創業した当初から、表面保護フィルムの製造、開発を手掛けてきました。金属建材の保護シートからスタートし、次第に自動車保護シートに着手。特に輸出車における従来のワックス、洗浄の工程が保護シートに移行したためです。近年ではエレクトロニクス分野で、液晶製品の保護に貢献し、最近では医療分野にも進出しています。

どんな時も「全員参加型経営」で、社員一同がベクトルを合わせて進んできました。

代表取締役 春山 喜一さん



■主な事業内容

表面保護フィルム、
機能性粘着フィルムの
製造・加工等

■主な取引先（納入先）

樹脂関連会社、化学
製品関連会社、医療
機関等

住所／〒543-0021
大阪市天王寺区
東高津町11-9
日本生命ビル4F
TEL／06-6763-0707
FAX／06-6768-9176
創業／昭和47年9月
資本金／9,600万円
従業員／155名

<http://www.sumiron.com>